



2026年6月4日

各 位

会 社 名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス

代表者名 代表取締役CEO 吉村 元久

(コード：2884、東証プライム)

問合せ先 取 締 役CFO 安東 俊

(TEL. 03-6206-1271)

株式会社はこだてわいんの株式取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、2026年6月4日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社はこだてわいん（以下、「はこだてわいん」といいます。）の株式を取得し、子会社化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 当社について

当社は、食品の製造及び販売をおこなう中小企業の支援・活性化を目的とし、後継者不在や自社単独での成長に課題を抱えている企業の株式を譲り受けるとともに、持株会社としてグループ全社の経営戦略の立案・実行及び経営管理をおこなっています。各子会社に対しては、セールス・マーケティング、生産管理、購買・物流、商品開発、品質管理、経営管理、海外展開といった機能ごとに横断的な管理をおこなう「中小企業支援プラットフォーム」により経営支援をおこなうことで、国内外の優れた食品企業を存続・成長させ、商品・雇用・取引先を守り、地域経済の維持及び発展に貢献してまいりました。

また、大手食品卸売企業である国分グループ本社株式会社をはじめとする、当社の事業基盤強化につながる外部パートナーとも積極的に協働しながら、より一層の事業拡大を図っています。

2. はこだてわいんについて

はこだてわいんは、北海道函館市近郊（亀田郡七飯町）に本社及び工場を構え、ワインを中心とした果実酒及びリキュールの製造・販売を行うワイナリーです。1973年に「駒ヶ岳酒造株式会社」として設立され、1984年に現商号へ変更して以降、「はこだてわいん」ブランドのもと、北海道函館・道南地域に根差した事業を展開してまいりました。

同社の事業の主体は、輸入原料を活用したワイン製造販売であり、フルーツワインなどの多彩なラインアップを揃えています。一方で、長年にわたり培ってきた醸造技術や品質管理体制をもとに、近年では北海道産原料を使用した「日本ワイン」の生産を強化しており、国内外のワインコンクールでの受賞を重ねるなど、その品質は高く評価されています。

今後は、地球温暖化が進行する中でブドウ栽培の適地として注目される函館近郊の地において、自社農園での栽培体制を一層強化し、日本ワインのさらなる拡充を図っていく方針です。こうした取り組みに加え、地域の生産者や取引先との信頼関係を基盤としながら、函館・道南地域の食文化を支える企業として、今後も持続

的な成長を図ってまいります。

3. 株式取得の理由

当社は、人口減少等に伴う国内需要の縮小を見据え、優れた日本の食品を国内外へ展開することを成長戦略の一つとして掲げています。特に、日本ならではの高い品質と独自性を備えた付加価値の高い商品は、国内市場における差別化に加え、海外市場においても評価される可能性が高く、持続的な成長の原動力となるものと考えています。

近年、日本ワインは品質向上とともに需要が拡大する一方で、ブドウ農家の高齢化や後継者不足等により、産地の持続可能性が課題となっています。また、温暖化の影響等を背景に北海道がワイン用ブドウの有望な産地として注目される中、生産基盤の安定化及び高品質な原料の安定確保は、ワイン事業の中長期的な成長において重要なテーマであると認識しています。

当社は、はこだてわいんが長年にわたり築いてきたブランド力、醸造技術、商品開発力、ならびに地域社会・取引先・生産者との信頼関係に魅力を感じ、同社の発行済株式の全てを取得することにいたしました。本件株式取得後も、同社の社名、ブランド、従業員、既存取引先との関係を尊重し、これまで培われてきた価値を承継・発展させてまいります。

今後は、当面の収益基盤として既存のワイン事業を維持・発展させつつ、中長期的には、日本ワイン、特に自社圃場産ブドウを使用した製品を中核とするワイナリーを目指してまいります。その実現に向けて、生産者との結びつきを一層強化するとともに、自社農園におけるブドウ栽培の拡充、栽培技術の向上、品質向上及び安定生産体制の確立に必要な設備投資等に取り組み、持続可能かつ安定的な原料調達体制の構築を目指します。

さらに、当社グループの国内外に広がる販売ネットワークや、国分グループ本社株式会社との資本業務提携を通じた物流・販売ネットワーク、マーケティングノウハウ等を活用することで、はこだてわいん製品の新規取引先開拓、販売チャネルの拡大、商品価値の向上及び海外展開を推進してまいります。

4. 異動する子会社（株式会社はこだてわいん）の概要

(1) 名 称	株式会社はこだてわいん			
(2) 所 在 地	北海道亀田郡七飯町字上藤城11番地			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 佐藤 恭介			
(4) 事 業 内 容	果実酒、リキュールの製造・販売			
(5) 資 本 金	98,450千円			
(6) 設 立 年 月 日	1973年4月26日			
(7) 大株主及び持株比率	株式会社ヤクルト北海道中央 100%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はございません		
	人 的 関 係	該当事項はございません。		
	取 引 関 係	該当事項はございません。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
純 資 産		1,199百万円	1,206百万円	914百万円
総 資 産		1,317百万円	1,289百万円	989百万円

1株当たり純資産	6,664円	6,701円	5,081円
売上高	525百万円	523百万円	514百万円
営業利益	2百万円	1百万円	6百万円
経常利益	7百万円	9百万円	12百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	5百万円	6百万円	7百万円
1株当たり当期純利益	28.5円	33.6円	41.4円
1株当たり配当金	－円	1,667円	－円

5. 株式取得の相手先の概要

(1) 名称	株式会社ヤクルト北海道中央		
(2) 所在地	北海道函館市昭和1丁目24番24号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 高橋 健		
(4) 事業内容	乳製品・清涼飲料水・健康食品・化粧品の販売		
(5) 資本金	13百万円		
(6) 設立年月日	1956年9月26日		
(7) 純資産	1,330百万円 (2026年3月期)		
(8) 総資産	1,736百万円 (2026年3月期)		
(9) 大株主及び持株比率	株式会社ヤクルト本社 100%		
(10) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はございません。	
	人的関係	該当事項はございません。	
	取引関係	該当事項はございません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はございません。	

6. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：0%)
(2) 取得株式数	180,000株 (議決権の数：180,000個)
(3) 取得価額	取得価額につきましては、相手先との守秘義務契約に基づき非開示とさせていただきます。なお、公平性・妥当性を確保するため、外部機関が実施した財務・法務デューディリジェンスの結果を勘案し、合理的な価格としています。なお、本件によりのれんは発生しない見込みです。
(4) 異動後の所有株式数	180,000株 (議決権の数：180,000個) (議決権所有割合：100%)

7. 日 程

(1) 取締役会決議日	2026年6月4日
(2) 契約締結日	2026年6月4日
(3) 株式譲渡実行日	2026年6月30日

8. 今後の見通し

本件株式取得による2027年2月期以降の連結業績に与える影響につきましては現在精査中であり、開示すべき事項が発生いたしましたら速やかに開示いたします。

以 上